

KYOTAMBA TOWN

# 京丹波

議会だより

第66号

[令和2年4月17日]

発行 京都府京丹波町議会

表紙写真

今年もきれいに咲いた曾根の大桜

令和2年

## 3月定例会

2P 2年度予算 合併後最大の大型予算 122億4000万円

5P 契約、条例の制定・改正、補正予算など  
新庁舎建設工事 21億6700万円で契約

7P 一般質問に12議員  
今後の公共交通のあり方についてなど

19P 閉会中の委員会報告  
のびのび児童クラブ1組施設建設現場踏査など

21P 追跡調査 高齢者を対象として町営バス料金が半額に

22P 人(ひと) たかあき 今西隆明さん(広瀬区)



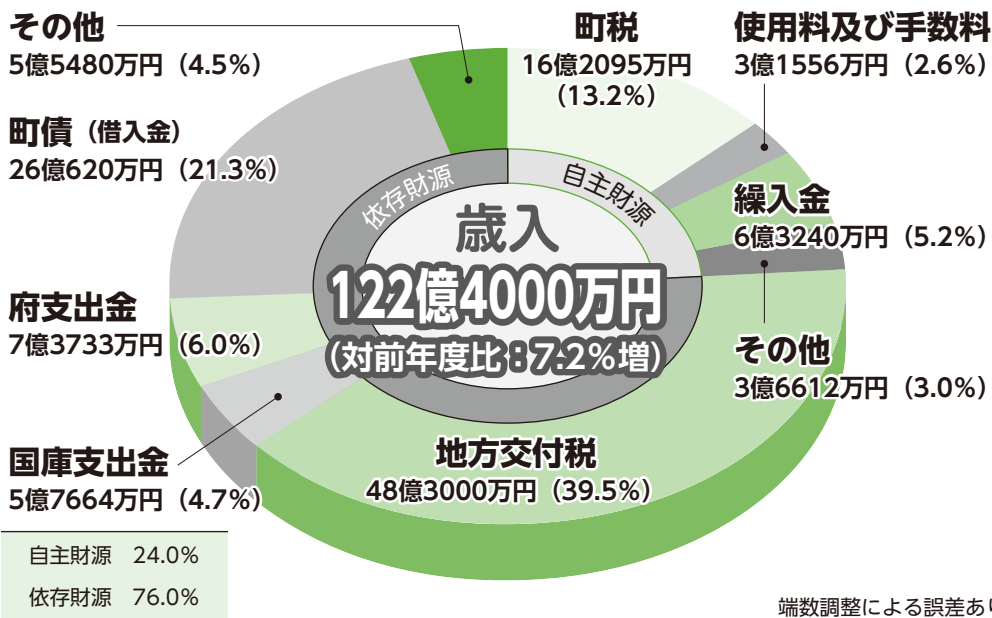
京丹波町

議会ホームページアクセス件数  
1,022,257件(R2.4.5現在)前号より1,387件増





# 予算 122億4000万円 に14億2078万円など



端数調整による誤差あり

令和2年3月定例会は、2月27日から3月18日まで開催されました。本定例会には、令和2年度一般会計・特別会計予算や条例の制定・改正など52議案が提案され、全議案を可決しました。12議員が一般質問に立ち、36項目について執行部の所見をいただきました。なお、本定例会には、延べ15人の傍聴がありました。

## 主な質疑・討論

### 歳入関係

- 問** たばこの売り上げが減少するなか、たばこ税が予算増となる原因は。
- 課長** たばこの売り上げ本数に関しては減少しているが、旧3級品銘柄などの税率が上昇したためである。
- 問** ケーブルテレビ加入金が8万円から1万円に変更となるが、本年度加入した方への対応は。
- 課長** 民営化の進捗とあわせて公平性を保ちつつ、最終1万円となるよう調整を図りたい。

**問** 法人町民税と、地方消費税交付金の増加理由は。

**課長** 法人税割の増額による。地方消費税交付金は消費税率の上昇を受けて、府の試算でも130%の増加が見込まれている。

**問** うるおい館、山村開発センターみずほ、丹波・食彩の工房使用料の変動理由は。

**課長** 夜間使用料、使用頻度の変動などが理由である。

**問** 太陽光発電施設には、適切に償却資産税が課税されているのか。

**課長** 現地調査を基本として、経済産業省への照会、登記情報から捕捉している。

**問** 森林環境譲与税の活用方法は。

**課長** 基本的に森林経営管理事業として活用し、今後20年間は続けていくことになる。

### 歳出関係

**問** 自動車の後付け急発進抑制装置取り付け費の事業内容は。

**課長** 70歳以上を対象に取付費の2分の1以内、2万円を上限として、取り付け後1年以内に申請されたものに補助する。

**問** 明日のむら人移住促進事業の事業内容は。

**課長** 町内移住者の受け入れ態勢整備として、地域を紹介する資料の作成や、住宅整備、起業支援などである。

**問** ふるさと納税を増やす対策は。

**課長** 返礼品を現在の倍以上の230品目を目標に、取扱業者を40社に広げるとともに、返礼品紹介サイトを3社に増やすことなどを予定している。

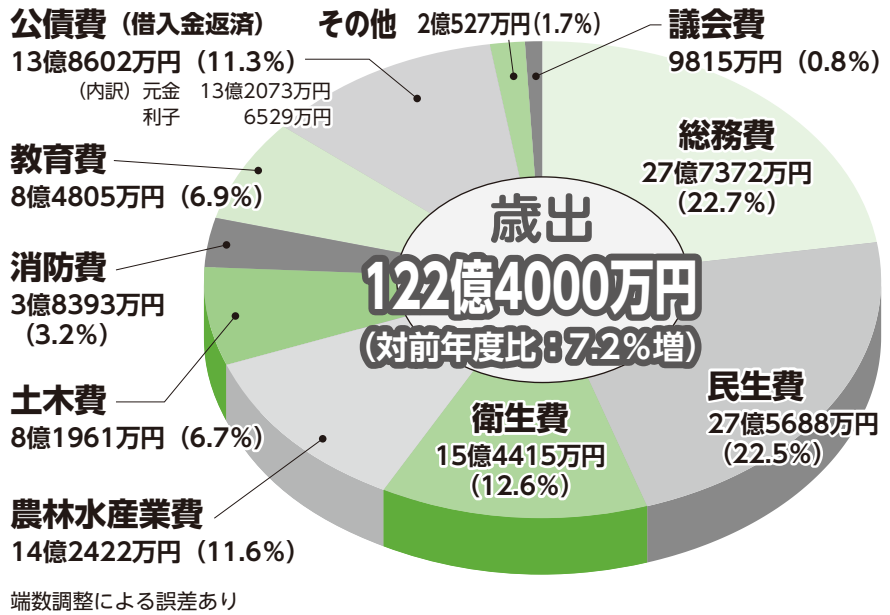
※旧3級品銘柄とは、わかば、エコーしんせい、をら銘柄のこと。

# 令和2年度 一般会計 当初予算

# 合併後最大の大型 新庁舎整備事業

**問** ケーブルテレビの民営化による財政的なメリットは。  
**課長** 向こう13年間の収支を試算すると、公設公営に比べて民設民営のほうが約10億円程度縮減される。

**問** 農業用ため池の安全・安心対策の内容は。  
**課長** 町内のため池79カ所のうち、38カ所を防災重点ため池として、順次安全・安心マップの作成を行っており、2年度は3カ所の作成を予定している。



**問** 学校給食センター設備改修工事費241万8千円の内容は。  
**次長** 主に丹波ひかり小学校給食センターの配膳室へのエアコン設置費である。

**問** 出生人数が減少するなか、今後の小学校統合などの検討は行っているか。  
**次長** 現時点では研究中であり、検討段階ではない。

**問** 財産管理費の中の備品購入費2千万円の用途は。  
**課長** 新庁舎に関する備品購入であり、調達に時間を要することから2年度分として計上したものである。

**問** 予備費が1500万円では少なすぎるのではないか。  
**課長** これまで1500万円を上回ることがなかったことから、この額で予算編成した。



ふるさと納税は貴重な自主財源

**反対討論** 山田 均 議員  
 施政方針の町民への説明責任や住民目線が貫かれていない。新庁舎建設は、身の丈に合ったものにするべき。

**賛成討論** 隅山 卓夫 議員  
 まちづくり、拠点づくり、未来づくり、機づくり、町民の誇りづくり、元気づくりの町発展促進予算に賛成。

**反対討論** 村山 良夫 議員  
 ケーブルテレビ民営化の全体説明がないのに債務負担行為を計上。

**賛成討論** 岩田 恵一 議員  
 公平・公正な行政の開示と開かれた町政運営に努められることを願い賛成する。

**賛成討論** 篠塚信太郎 議員  
 新庁舎・認定こども園整備、ケーブルテレビ民営化、移住定住対策などの事業を推進する予算に賛成。





# 令和2年度 特別会計・公営企業会計当初予算

主な会計	予算額	主な内容	採決結果		
			賛成	反対	
特別会計	国民健康保険事業	17億9630万円	療養給付と保健事業の経費	11	4
	後期高齢者医療	2億6291万円	後期高齢者医療広域連合への納付金	11	4
	介護保険事業	23億174万円	居宅・施設介護サービスの給付経費	11	4
	下水道事業	9億9120万円	下水道施設の維持管理経費	全員賛成	
	町営バス運行事業	1億3834万円	町営バス運行経費	全員賛成	
企業会計	国保京丹波町病院事業		京丹波町病院・診療所の運営経費	全員賛成	
	収益的収入	10億4100万円			
	収益的支出	10億4518万円			
	資本的収入	3625万円			
	資本的支出	8625万円			
	水道事業		水道施設の維持管理経費	11	4
	収益的収入	11億7560万円			
	収益的支出	11億6980万円			
	資本的収入	5億2002万円			
	資本的支出	8億7896万円			

## 主な質疑・討論

### 国民健康保険事業

**問** 約2億9061万円基金を積み立てているが、本町が必要とする基金の目安は。

**課長** 過去3年間の平均給付費の5%以上が目安であり、約6千万円となるが、財政力が厳しい本町は2億円程度は必要である。

### 反対討論 坂本美智代 議員

多額の基金を積み立てるのではなく一部を取り崩し、保険税の引き下げに充当すべきであり反対。

### 賛成討論 森田 幸子 議員

国保税収納率の向上による負担と給付のバランスを保ち、将来にわたり安定した国保事業運営を期待する。

### 後期高齢者医療

**問** 軽減の対象者及び本町の平均保険料は。

**課長** 7・75割から2割軽減まで軽減対象者は合計2382人。本町の平均保険料は5万4788円、府平均は8万5951円である。

### 反対討論 坂本美智代 議員

一定所得の方への医療費窓口負担を一割から二割への見直しは、受診抑制となり医療費の増大を招くため反対。

### 賛成討論 鈴木 利明 議員

本町は高い健康受診率を誇り、限られた財源のなかで高齢者の保健予防が行われており賛成。

### 介護保険事業

**問** 老人保健施設への繰入基準も交付税算入もないなか、歯止めなく50%以上の繰り入れを行うのか。

### 課長

収支の均衡を図るための繰り入れであり、今後必要な水準であると考える。

**問** 第8期介護保険料

の策定が行われるが、第7期保険料から上がる予想か。

### 課長

全国的に介護職員不足による処遇改善がいわれているが、基金の活用も考え負担にならないようにしたい。

### 反対討論 坂本美智代 議員

介護保険制度が導入され20年目。度重なる法改正と介護報酬の見直しで、実態に即した保険事業でなく反対。

### 賛成討論 野口 正利 議員

基本理念のもと、高齢化社会の豊かさは、未来の子や孫の世代に安心安全を発信できる重要な役割であり賛成。

### 国保京丹波町病院事業

**問** 事業収益8億4100万円は、30年度決算6億6200万円から見て思い切った予算構成であるが、達成するための経営戦略は。

**課長** 地域包括ケア病床を4床増、訪問看護

を年間240件増やすなど、収支黒字になる予算を編成している。

### 水道事業

**問** 町長の施政方針で、水道の広域化・共同化を進めていくとあるが、どのような協議がされているか。

**課長** 亀岡市、南丹市との2市1町で協議することになっている。

### システム共同化や費用対効果、窓口業務の共同化、資材や薬品の共同購入のメリットを研究している。

### 反対討論 山田 均 議員

水道事業の広域化や民営化の方向は、住民や自治体にとって百害あって一利なしのものであり反対。

### 賛成討論 谷口 勝巳 議員

安心・安全で安定した、水道水の供給という使命感達成のため、継続的かつ積極的な事業が予算化され賛成。

# 新庁舎建設工事21億6700万円で契約 令和3年8月31日完成予定



いよいよ新庁舎本体工事着工

## 契約

### 新庁舎建設工事請負契約

大成建設(株)関西支店と21億6700万円で契約を締結するもの。  
工期は令和3年8月31日まで。

〔賛成10 反対5〕

平成30年度決算額の34%の財政投資をして、本当に財政が将来持つのか。

〔町長〕 非常に厳しい状況であることは、十分

認識している。完成に向けて、全力で取り組んでいく。

### 総合評価の地域貢献

献として、町内企業への発注想定額の提案は約1億円であるが、その内訳は。

〔課長〕 木工工事などで

3千万円、資材調達で6千万円、宿舍や燃料などで1千万円の提案があった。

〔反対討論〕 東 まさ子 議員

過大な交流ゾーンや大会議室を見直し、必

要最小限の規模と費用で、暮らしを圧迫しないコンパクトな庁舎を。

〔反対討論〕 村山 良夫 議員

本契約工事は実績のない組柱工法で、工法的、財政的にも結果責任に明確な答弁がなく、無責任な議案である。

### 新庁舎整備事業 木材調達契約の変更

工事開始時期が遅延し、木材の支給時期を見直したことなどにより、契約期間を令和2年12月25日までと変更するもの。

〔賛成10 反対5〕

〔反対討論〕 山田 均 議員

木材調達は契約期間の3月31日までに製品を納入するのが当然である。身の丈にあった庁舎建設をすべき。

〔賛成討論〕 鈴木 利明 議員

入札の不調や施工順序の見直しを行い、新庁舎建設に使用する木材の調達期間を変更するものであり賛成。

## 計画策定

### 第2期子ども・子育て支援事業計画の策定

子ども・子育て支援法に基づき、令和2年度から6年度までの計画を定めるもの。

〔全員賛成〕

### 主な条例の制定・改正

16議案が提案され、全議案を可決しました。

### 森林環境譲与税金条例の制定

森林環境譲与税を必要に応じて有効に活用するため基金を設置するもの。〔全員賛成〕

### ケーブルテレビ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

加入金8万円を1万円に引き下げ、本町への移住定住促進を図り、民営化への円滑な移行を行うため、加入分担

金を改めるもの。

〔賛成10 反対5〕

〔町長〕 民営化により町や町民にプラスとなるか。

〔町長〕 技術革新などに対応するうえで、民営化はコスト削減となる。

〔反対討論〕 村山 良夫 議員

民営化によるメリットや町民の個人負担の増加についての説明もなく、民営化にかかる先行議案に反対。

〔賛成討論〕 西山 芳明 議員

移住促進のため、安価に加入できる環境整備が必要ことや、民営化の際には円滑な移行が期待でき賛成。

〔反対討論〕 東 まさ子 議員

民営化に移行するかどうかは住民負担のこともあり、十分な検討が必要。民営化移行を前提にした改正に反対。

〔賛成討論〕 北尾 潤 議員

移住・定住希望者への経済的な負担軽減につながる、民営化への円滑な移行にも配慮された施策であり賛成。



**放課後児童健全育成事業設置条例の一部改正**

のびのび児童クラブ1組の移転に伴い、住所を変更するもの。

〔全員賛成〕

**町立子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正**

子育て支援センター（短時保育事業）の給食費に関し、2年度以降においても第3子以降を無償とするもの。

〔全員賛成〕

**人事（敬称略）**

人権擁護委員候補者  
湊 令子（再任）  
堀川 好（再任）

**令和元年度補正予算**

決算見込みにより精査をしたもので、一般会計ほか12件の特別会計、公営企業会計予算を可決しました。

**委員会条例改正**

議会広報常任委員会の所管事務に、議会報告会などに関する事務を追加するもの。

〔賛成13 反対1 退席1〕

**決議**

新型コロナウイルス感染症対策の迅速かつ総合的な取組を求める決議（抜粋）

提出者 福祉厚生常任委員会委員長

新型コロナウイルスによる感染症の事態収束のため、本町においては、住民の命と健康を守ることを最優先に、感染拡大の防止対策、住民生活の安心・安全の確保に迅速かつ全力で取り組むよう求める。

町議会においても、行政と連携・協力し、事態収束に向け、取組を進める。〔全員賛成〕

**令和2年度に繰り越す主な事業（※繰越明許費）**

事業名	金額	説明
新庁舎整備	3億4050万円	建設工事、木材調達契約など
認定こども園整備	6234万円	木材調達業務
畜産競争力強化整備	2億2355万円	畜産クラスター協議会への補助
土地改良施設維持管理	1071万円	防災重点ため池のハザードマップ作成など
森林管理道開設	4200万円	林道開設工事
道路新設改良	3億559万円	町道改良工事など
建設改良費（水道事業会計）	5350万円	畑川浄水場和知地区遠方監視装置更新工事など
その他2事業	200万円	土地改良施設維持に関する補助、木造住宅の耐震改修
合計	10億4019万円	令和2年度に繰り越す金額の合計

※繰越明許費：特別の事情によって工事などが遅れ、年度内に完了することができない場合、例外として次年度に繰り越して経費の支出ができるようにする予算をいいます。

**各議員の賛否**

賛否の分かれた議案のみの表示です。  
ほかの議案については、全会一致で賛成しました。

2年3月定例会

審議結果	議案名など	議員名														
		岩田 恵一	野口 正利	谷口 勝巳	隅山 卓夫	村山 良夫	坂本美智代	鈴木 利明	西山 芳明	北尾 潤	山下 靖夫	東 まさ子	山田 均	谷山眞智子	篠塚信太郎	森田 幸子
可	新庁舎建設工事請負契約	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○
可	ケーブルテレビ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○
可	2年度一般会計予算	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○
可	2年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○
可	2年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○
可	2年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○
可	2年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○
可	元年度町営バス運行事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可	新庁舎整備事業 木材調達契約の変更	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○
可	議会委員会条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○

議長は採決には加わらない。○は賛成、×は反対、退は退席





西山 芳明 議員

## 拠点に貸出用シニアカーを 配置しては

### 町長 高齢者のさまざまな移動手段を検討する



路線バスの発着拠点から目的地までの移動は大変  
(JRバス松山駅)

**問** 運転免許証返納者が買い物などで公共バスを利用した際、町内各拠点に貸出用シニアカーを配置すれば、移動手段として活用できるのでは。

**町長** シニアカーの配置も一案だが、高齢者の移動手段にはさまざまな方法があり、有効な手段を検討していく。  
**問** 免許証返納者数と特典の公共バス利用券の活用状況は。

**町長** 免許証返納者は177人であり、そのうち特典を受けられた方は162人である。

バス運行事業体に支払った利用券代が51万円であったことから32%程度と考える。

**問** 昨年9月に「公共交通検討会」が設立されたが、検討内容は。

**町長** 既存の町営バス路線見直しや再編、新規路線、町内周遊バスの検討などを中心に協

議している。

消防団の再編はどの程度進んでいるか

**問** 30年3月に消防審議会から消防団の再編に対する答申が出されたが、部の再編についての検討は。

**町長** 各部の人数と昼間活動可能な人数をもとに、現在再編の素案を作成中である。新年度当初から幹部との協議を進め、夏ごろには分団や地域への提示ができる見込みである。

**問** 答申では、部の再編とともに分団の再編や支団の廃止についても言及されているが、検討は進んでいるか。

**町長** 部の再編の動向にもとづいて、分団の再編を検討し、その後支団をどうするかを検討していく。

**問** 定数900人と定めているが、団員減少の進むなか、定数の変更は。

**町長** 現時点では変更しておらず、部や分団の再編と併せ検討する。

**問** 団員確保対策として具体的な取り組みは。

**町長** 団員による勧誘に加え、成人式でのチラシ配布、ケーブルテレビの防災情報番組に女性消防団員が出演するなどの広報も行った。今後は、自治会の協力も得て、地域ぐるみで勧誘を進めていくことを考えている。

環境推進委員の謝礼額見直しを

**問** 生活ごみの排出には環境推進委員の貢献が大きい。謝礼額を見直す考えは。

**町長** 理解はしているが、見直す考えはない。  
**問** 4月以降の可燃ごみの受け入れ先は。

**町長** 現在の京都市での受け入れ分は、4月から三重県伊賀市の民間業者三重中央開発(株)に処理を委託する。



# 町民は新庁舎が完成すれば 災害時に安心できるか



村山 良夫 議員

## 町長 復旧活動の指揮がとれ町民は安心できる

**問** 町長は目的と手段の区分ができていない。目的は「安心・安全なまちづくり」、手段は「災害対策の施策」と「災害後の復旧施策」である。新庁舎は災害後の復旧施策の一策に過ぎない。

**町民の住居のうち、新耐震基準に適合する世帯数は。**

**町長** 把握していない。

**問** 平成7年に施行された「耐震改修促進計画」の進捗状況は。

**課長** 平成28年度に促進計画を見直す予定であったが、2年度に実施予定である。

**問** 旧耐震基準の町民の住居の数は。

**町長** 総建築物の資料によると、4割が旧耐震基準である。

**問** 耐震改修の補助金制度と予算計上額は。

**課長** 2年度予算で改修工事2件など270万円と、耐震診断20万8千円の290万8千

円を計上している。

**問** 4割の旧耐震基準の住居にかかる耐震改修に必要な補助金額は。

**課長** 6億6千万円必要となる。

**問** 復旧施策には膨大な経費が必要となるが、2年度の予算計上額は。

**課長** 2年度は29年台風と30年7月豪雨の補助金として、370万円を計上している。

**問** 復旧施策を予算化していないのは。

**町長** 行政の支援は必要であるが、個人資産であり保険などで準備してもらいたい。

### 災害対策と財力

**問** 事業は財政力とのバランスが大事であり、新庁舎建設は決算額の34%にもなる大事業である。財政崩壊の結果責任は負えるのか。

**町長** 当然、結果責任を負う。

### 正しい情報公開を

**問** 現庁舎がRCと木造の複合建築物と知ったのは。

**町長** 図面が見つかり一部RCであることが判明したが、木造との複合建築物ではない。

**問** 図面によると、中央部がラーメン構造で補強した構造であり、新庁舎と同じでは。

**町長** 木造と認識している。

**問** 30年10月6日の私の質問に対して、柱の壁紙を剥がし確認したと回答したのでは。

**町長** 嘘は言っていないが、不正確な部分があった。

**問** タウンミーティングで「新庁舎建設で町民は安心」「現庁舎は木造で崩壊」と情報提供したことは、町民への裏切り行為でないか。

**町長** 専門家の意見を聞き、情報提供した。



見つかった図面





鈴木 利明 議員

# 教育委員会は速やかに 新庁舎に戻すべき

## 町長 将来は状況の変化に柔軟に対応していく



ナイター設備が完成した「グリーンランドみずほ」  
ホッケーグラウンド

**問** 現在、和知支所内にある教育委員会は本来、役場内に置くべき行政組織である。開庁後に条件が整い次第、一日も早く本庁内に戻すべきでは。

**町長** 将来、状況に変化が生じた際には、柔軟に対応していきたい。

**問** 地方教育行政法が改正され、5年が経過した。改正の柱の一つは、「新教育長」制度である。教育長は、本

る活動を続けてきたが、現状は。

**教育長** 条件面で調整が困難な状況となった。  
**問** 相手方と基本的に考え方が相違しており、深い追いは必要ない。他に「出合い、ふれあい、学びあい」をキーワードに教育を推進していきたい。

**問** 東京オリンピックのホストタウン構想を掲げ、ニュージードのホッケー女子代表チームの合宿を誘致す

**町長** 将来、状況に変化が生じた際には、柔軟に対応していきたい。

**問** 地方教育行政法が改正され、5年が経過した。改正の柱の一つは、「新教育長」制度である。教育長は、本

**町長** 将来、状況に変化が生じた際には、柔軟に対応していきたい。

**問** 地方教育行政法が改正され、5年が経過した。改正の柱の一つは、「新教育長」制度である。教育長は、本

京丹波町病院の  
現状と課題

**問** 国は全国の公立・公的病院の再編や統合の再検証が必要な病院として、424病院を公表した。京丹波町病院が含まれていたがどうか。

**町長** 地域で果たす役割などの理解を求めながら、京丹波町病院を守っていきたい。

**問** 町長は12月の定例会で、審議会などをつくり、医師の確保などを進めると答弁された。審議会のもとで、病院組織の総点検を実施すべきと考えるが。

**町長** 経営や運営を審議する委員会の立ち上げを準備している。



# ひきこもり支援の 取り組みを



森田 幸子 議員

## 町長 重要な問題と認識し取り組みを検討する

問 産後ケア事業を効

子育て世代包括支援センターの実施を

問 改正母子保健法で出産後1年以内と明記された。本町では4カ月間としているが、1年間とする考えは。  
町長 法改正の施行時期や近隣市町の状況を踏まえ、医療機関との調整を行い検討する。

1年間の産後ケア事業を

問 ひきこもりから脱するためには、家族のかかわりが大切であるが簡単なことでないため、第三者の「マイルドなおせっかい」が大事である。このイメージは秋田県藤里町が取り組んだ支援策がヒントとなる。調査研究し、取り組む考えは。  
町長 将来にわたる非常に重要な問題ということを認識し、取り組みを検討する。



未来を担う大切な赤ちゃん

果的に実施するためには妊娠中から出産に至る支援を切れ目なく行う視点が大事である。  
妊産婦の相談をワンストップで、受け付ける子育て世代包括支援センターの立ち上げを。  
町長 包括支援センターで担うべき妊産婦などへの支援に必要な体制は、保健師を中心にこども未来課と連携し概ね実施している。組織の立ち上げは、有

多胎児家庭への支援事業を

効かを含めて検討する。  
問 多胎児家庭は外出が難しいなどの問題を抱え、孤立化しがちなことから、国は育児サポートター派遣事業を始めた。実施主体は市区町村で、国が費用の半額を補助している。実施する考えは。  
町長 育児サポートとなる人材確保の課題

多胎児妊婦健康診査支援事業を

も懸念する。事業内容や他市町村の状況も見ながら検討する。  
問 多胎は単胎に比べて早産などのリスクが高い。  
基準14回を超える健診6回分の費用について、負担額の半分を助成する府の独自制度を受けて実施する考えは。  
町長 現在、実施に向けて準備を進めている。

図書室にSDGsを特集した書架を

問 国連で採択された、誰も置き去りにしないを理念に掲げる持続可能な開発目標（SDGs）を特集した書架の設置を。  
教育長 町を挙げての取り組みとしていかなければならない課題と認識している。コーナー化に向けて検討する。





野口 正利 議員

# 大嘗祭を好機に地域農政を 考え直す時期では

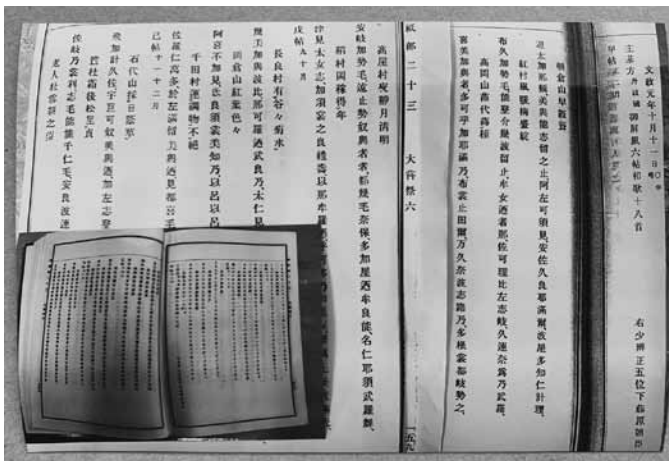
## 町長 基本的な地域農業経営の基盤を整えることに注力したい

**問** 人口減少と生産基盤の脆弱化が進行している。大嘗祭を好機に地域農政への考えは。

**町長** 農地集積や営農組織の強化により効果や効率化を促進、新規就農者を含む担い手の確保など、基本的な地域農業経営の基盤を整えることに注力したい。

**問** 稲春歌に豊かな生活の福祉を、風俗歌に幸せで平和な生活の福祉を感じる。本町に住んで「どれくらい幸せと感じているか」の評価が、住民福祉の向上につながると思うが。

**町長** 平和な世の中、健康で豊かな生活を送れることは恒久の願いである。住民福祉の向上を目指して、健康の里づくりを推進する。



仁孝天皇即位礼 和歌出典 古事類苑(京都市中央図書館蔵書)  
稲春歌(大嘗祭で神前に供える稲をつく時にうたう歌)

### 人材確保の対策を

**問** 障害福祉施策が推進されてきたなか、職員の人材確保は深刻な課題であるが対策は。

**町長** 個人向けに介護福祉士の資格に係る費用助成、法人向けに募集費用に係る助成を行っている。介護福祉士の修学資金貸与制度も実施している。

### 本町における企業の実態調査を伺う。

**町長** 経済センサスなど、統計調査データの活用や、産業ネットワーク加入企業を中心に企業訪問を行い、実態把握に努めている。

### 戦争回避を

**問** 町内活性化のため、官民事業所での就労の場や人材確保が必要である。今後の具体的な計画は。

**町長** 次世代の地域定着人材の育成を目的に、平成28年度から高校生インターンシップを実施している。今後も引き続き、取り組みを継続・進化させたい。

**問** 文化財の復興を破壊された文化財を復元し、持続する地域づくりにつなげる方法や支援策は。

**町長** 地域の文化財が大切に守り継がれて、地域づくりの貴重な要素となり得るための効果的な方法について、研究していく。

**問** 戦争経験のない世代が戦争回避を原理原則として語り継ぐ責任がある。今まさにウイルスとの戦いを宣言する時代であると感じるが、所見を伺う。

**町長** 戦争は、人間が引き起こすものである。また、人間の力で防ぐこともできることを次の世代に引き継ぐことが、我々の責務であると認識している。

**問** 現在、世界中で感染が拡大している新型コロナウイルスの歴史はウイルスとの戦いであると認識している。

### 文化財の復興を

破壊された文化財

# 関西電力和知ダム湖底の 浚渫を



隅山 卓夫 議員

## 町長 関西電力から浚渫の計画はないと聞いている



関西電力和知ダム

**問** 昨年開催した議会報告会で、現在の和知川は川床に汚泥が堆積し、水質悪化が著しいとの意見が出された。府による水質検査は実施されているのか。

**町長** 由良川上流は府の管理で、本町内ではダム下流の須川橋付近で採取し、年4回の検査を実施している。生活環境基準における有害物質の検出はない。ダム完成以来53年

が経過し、川床の悪化は顕著である。国において緊急浚渫事業の創設がされたと聞くが、和知ダム湖底の浚渫は対象にならないのか。

**町長** 総務省の緊急浚渫推進事業（仮称）は、河川氾濫などが相次ぐなか、被災後の復旧費用を考慮し、堆積土砂撤去・処分などの維持管理が重要となることから、都道府県の計画策定により実施する緊急

急的な浚渫への財政支援である。

一方、和知ダムは発電を目的としており、対象にならない。

しかし、河川の氾濫の危険性が和知ダム下流で懸案となっており、適切な維持管理と河川環境の向上など、府に対して要望する。

### 新庁舎のPRを

**問** 新庁舎は地元産材を利用した大規模木造建築物として、先駆的な役割の発揮が期待され求められている。

公共建築物などの木材利用の推進の一助を、施工監理業者となった大成建設(株)に企業戦略として発信するよう求めるべきでは。

**町長** 町民参加型のワークショップ企画や現場説明会実施など積極的なPRを求めたい。また、町内の豊かな森林資源を最大限活用した先導的な木造建築

物として周知を図る。

### 町史編纂と 学校教育改革

**問** 合併の経緯などを記録に残す必要は。

**教育長** 歴史を後世に伝えることは重要である。情報を整理して、歴史的文化資料の適正管理、保存に努める。

**問** 「和知西国33ヶ寺パネル展」が、道の駅「和」道路情報センターで展示されたが見解は。

**教育長** 貴重な文化的財産を次代に継承することは重要である。今後文化財の保護、啓発を積極的に取り組む。

**問** 島根県海士町では教育改革の成果で生徒が地域課題解決に取り組み、I・Jターンで若者が増えたが見解は。  
**教育長** 海士町の取り組みを参考に、蒲生野中学校で課題を探索する地域学習を実施している。





篠塚 信太郎 議員

# 畑川ダム周辺整備は地域住民の要望に沿い早期着工を

## 町長 具体的な計画案ができた段階で府の財政支援を要望する



畑川ダム周辺整備予定地

ケーブルテレビ民営化による内容は

**問** 畑川ダム周辺整備は、平成5年3月に府、地元協議会などの4者で協定書が締結された。25年にダムが完成したが、事業は進捗していない。  
**町長** 地域住民の要望に沿った事業の早期着工を。23年に計画策定された内容も踏まえ、現在地元と調整中であり、具体的な計画案ができた段階で、府の財政支援を要望していく。

**問** 現在月額2千円のインターネット利用料見込み額は。  
**町長** 一般的な民間利用料は、1ギガ5千円から6千円程度である。  
**問** 自主放送番組は継続するのか。  
**町長** 継続して放送していきたい。  
**問** 自主放送番組を行う1年間の経費は。

**課長** 約1億円程度の経費が発生する。  
**問** ケーブルテレビ運営事業の民営化移行と移行後の町負担額は。  
**町長** 10年間で9億860万円である。  
**問** 民営化で株丹波情報センターの運営はどうなるか。  
**町長** 今後、株丹波情報センターのあり方について検討し、社員の方の雇用についても確保できるとしていきたい。

既設の熱供給システムの運用実態は

**問** 熱供給システムの運用実態は、冬の厳寒期に熱供給不足により、長老苑ではエアコンなどで不足した熱量を補っていると聞くが。  
**課長** 施設導入後3年が経過し、チップの含水率の状況により熱の供給状況が変わってくる。含水率の安定に苦慮している。  
**問** 既設の熱供給システムの問題点が究明されるまで、次のプロジェクトに着手すべきでないと思うが。  
**課長** 既設の熱供給施設を安定的に稼働させることに注力している。課題を克服し、次の段階に移っていきたい。

2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言を

**問** 本町は森林面積が広く、CO2の排出量が少ないことから、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言を行い、次期地球温暖化対策実行計画改定時に宣言を盛り込む考えは。  
**町長** 目標達成には多くの課題も予想されることから、どういった取り組みが必要か、府の方針と連携しながら研究していきたい。

**問** 既設の熱供給システム

**提言** 本年1月末で、京都府、京都市ほか49自治体で宣言しており、早期にゼロ宣言をすべきである。

# 太陽光発電施設の設置に関するガイドラインを条例に



谷山 眞智子 議員

## 町長 全体的な情勢を見ながら検討する



太陽光パネルの適正な廃棄処理を

**問** 地球温暖化対策で再生エネルギーなどが注目されるなか、太陽光発電をよく目にする。太陽光パネルの寿命は25〜30年と長期であり、事業主が途中で変わる人が多い。放置や不法投棄されないよう、適切なパネル処理が行われる対策を講じているか。

**町長** 京丹波町太陽光発電施設の設置に関するガイドラインで、適正に処理することを規定している。

**問** 経済産業省は安全確保・地域の共生・太陽光廃棄対策の三つをあげている。太陽光発電事業で利益を得ている業者は、地域の安全・安心に責任を持つべきでは。

**町長** 事業者に廃棄をしっかりと求め、地域との共生を図ってもらおう。

**問** 本町にはガイドラインしかない。他自治

体では拘束力のある条例を制定しているところもある。条例制定の考えは。

**町長** 全体的な情勢を見ながら検討する。

**必須となる  
プログラムミング教育**

**問** 本年4月からプログラミング教育が必須になるが、内容は。

**教育長** 各教科の中で

プログラムミングを取り入れ、体験・学習することで、身近な問題の発見・解決にコンピュータの働きを生かすことや、児童同士の協働、情報活動能力の育成が狙いである。

**問** プログラミング思考の構築に、国語能力が必要であると聞くが

**教育長** 的確な指示を考え抜く能力、与えられた課題を正確に読み解く能力が必要である。国語科の目標に、順序立て、筋道を立てて考える力を養うことを

あげている。

**木材調達を随意契約とする理由は**

**問** 木材調達随意契約の理由は。

**町長** 地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に規定する、「契約の性質または目的が競争入札に適しないものをするとき」に基づき契約を締結した。

**問** 採用理由に、森林林業の担い手育成を高めることを目的としているが、具体的なものは。

**課長** 町内産木材の活用モデル形成や、森づくりの意欲拡大などである。

**問** 随意契約の価格は安価ではない。契約変更できないか。

**町長** 本町が設定した予定価格より、共同企業体の見積価格が安価であったことから契約を締結した。契約締結後は変更できない。





坂本 美智代 議員

# 住宅改修補助金制度の継続と対象の拡大を

## 町長 今年度は継続していく



長期空き家となっている町営住宅

**問** 町内の商工業の活性化を図るため、23年度から実施してきた住宅改修補助金制度は、大きな経済効果をもたらした。事業の継続と対象の拡大の考えは。

**町長** 2年度は従来どおり継続していくが、来年は予算編成時点で考える。

**問** 消費税の増税と新型コロナウイルスの感染拡大による営業の影響について、商店や事

業主などに聞き取り調査を実施する考えは。

**町長** 商工会を通じ、際立った影響はないとの回答を得ている。

商工会などと連携しながら、実態把握に努める。

**町営住宅の  
空き家対策は**

**問** 公営住宅、特定公営賃貸住宅、特別賃貸住宅の入居状況（稼働率）は。

空き家住宅の件数と最長空き家の年数は。

また、維持管理は。

**町長** 通常空き家が25戸で稼働率は78・77%である。

空き家年数の最長は、7年11カ月である。

不定期ではあるが、住宅周りの草刈りや雑木の除去作業などを行っている。

**問** 町営住宅の家賃は、本町にとって大きな自主財源である。空き家となっている17戸の特定公営賃貸住宅の家賃を見直す考えは。

**町長** 考えていない。

**高校生の医療費助成を  
現物支給に**

**問** 子育て支援医療費助成事業を実施しているが、高校生の場合は償還払いとなっており、中学校卒業までと同様現物支給にする考えは。

**町長** 義務教育である中学生までのように、一律に受給者証を交付

することは困難である。償還払いが適切な方法と考える。

**問** 発達支援事業の充実として、思春期サポート事業に取り組みが、具体的な内容は。

**町長** 従来の発達相談の一層の充実にあわせ、新たに臨床心理士などによる思春期相談窓口を開設予定である。

**問** 新事業の特色ある学校づくりの推進への取り組み内容とは。

**教育長** 本町ならではの教育の実現に向け、地域の特性を生かした特色ある学校づくりを推進していきたい。

**問** 学童保育施設「のびのび児童クラブグループ」を開設していた、旧須知小学校の今後の活用計画は。

**町長** 講堂やグラウンドは社会体育施設として、教室棟は倉庫などとして引き続き活用予定である。



# 施政方針はホームページに公開し議会傍聴者に配布を



東 まさ子 議員

## 町長 議会での表明後、速やかに公開する

**問** 町民と一体となってまちづくりを進める方策として、町政運営の基本的な考え方や、予算案及び重要施策を述べている施政方針を議会開会と同時にホームページに公開し、傍聴者に配布する考えは、

**町長** 施政方針は議会での表明後、速やかにホームページ上に公開したい。傍聴者への配布は考えていない。

**CATVは民営化でどうなるか**

**問** ケーブルテレビの民営化を図るため、2年度の当初予算に2、14年度までの民間事業者への支援として、9億860万円を限度額とする債務負担行為が設定された。今後のスケジュールは。

**町長** 2年度に、公募型プロポーザル方式で民間事業者を選定後、地元説明会や整備工事を進めたい。



民営化になれば撤去となる「光」加入者端末

**問** 整備内容は。

**町長** 町内全域の伝送路設備工事後に、各加入者宅への引き込み工事を行う。

**問** 民営化に移行後もテレビ視聴のみと、インターネット接続の選択は可能か。

**課長** 可能である。

**問** 利用料を民間と同じ30億1900万円にすれば、公設公営でも民営化でも負担は同じである。メリットは。

**課長** 都市部と同じサ

ービスとなり、さらなる利活用に貢献できる。

**問** 既存伝送路を民間に譲渡して活用し、高度化整備はできないか。また、告知放送の機能を残せないか。

**課長** プロポーザルで業者の提案を聞きたい。告知放送を残すには専用ケーブルが必要で、コスト的に厳しい。

**問** 2年度は第7期事

**安心してできる 介護保険制度へ**

業計画の最終年である。利用者は給付削減と負担増の繰り返して、事業所も困難な運営状況である。次期計画改定に向け、国庫負担を増やすように意見をあげるべきでは。

**町長** 制度として、しっかり成立するような要望は行いたい。

**給食費の負担軽減と洋式トイレの促進を**

**問** 全国507自治体で給食費無償、一部補助を実施している。憲法では義務教育は無償としており、国に意見をあげるべきでは。

**教育長** 学校給食法に従い、無償化及び助成は考えていない。要望を国に行う考えもない。

**問** トイレの洋式化を促進する考えは。

**次長** 2年度に学校施設の長寿命化計画を策定する。緊急性の度合いに応じて進めたい。





山田 均 議員

# 京丹波町病院はなくてはならない公的医療機関

## 町長 健康の里づくりで大事な施設である



福祉・医療・介護など地域医療の中核を担う  
京丹波町病院

問 厚労省は再検証が必要な公立・公的病院を発表した。医療機関の少ない本町では、京丹波町病院は地域医療の中心を担っており、なくてはならない医療機関として、まちづくりの中心に位置づけて充実・強化すべきでは

町長 健康の里づくりを進めるうえで、病院の役割は重要であると認識している。基礎的な診療が受けられる病院づくりに努めたい。

「家族農業10年」  
小規模農家への支援を

問 2019年から10年間を「家族農業10年」として国連で採択された。多様な農林漁業が維持されてこそ、農村社会をはじめ、社会全体の持続性を高めることができる。

町長 本町でも家族農業を中心的担い手として、しっかり位置づけて、支援を行うべきでは。

健康の里づくりの実現に向けた取り組みは

課長 「家族農業10年」の趣旨をふまえ、今後も取り組みを進めていきたい。

問 「行政の公正化」の情報公開、透明化は徹底できているか。

町長 情報公開を進めている。

問 「環境整備」として、災害時避難場所となる公民館のバリアフリー化に対する支援は。

町長 公民館改修は、自治振興補助金で取り組んでもらっている。

問 「暮らしの安心・安全」として、高齢者が地域で暮らしていくため、医療の確保と通院手段などの対策は。

町長 病院関係も通院手段についても、先に答弁したとおりである。

問 「子育て支援」として、給食費の無償化などの取り組みが必要

では。

町長 子育て支援策は、引き続き取り組んでいきたい。

問 「産業振興」として、地域の担い手である小規模農家にも機械導入の支援など、きめ細かな支援が必要では。

町長 担い手となる集落営農や農家への支援は、しっかりと取り組んでいきたい。

国道の道路整備促進は

問 国道27号の白土橋改修、国道9号橋爪地内の歩道改良の取り組み強化が必要では。

町長 早期完成に向けて要望活動をしていきたい。

公民館の休館日変更を

問 自主的な活動を支援する立場から、日・祝祭日は公民館を開館すべきでは。

教育長 住民ニーズを把握して、開館を検討したい。



# 施政方針からは町長の危機感が感じられないが



北尾 潤 議員

## 町長 非常に厳しいという認識である



難しい時代のかじ取りが求められる町政

**問** 少子高齢化による人口減少などを含む本町の置かれている状況は、景気の動向のような時限的な問題とは全く別の、非常に厳しい状況と考える。このようなかで、1年ごとの町政のかじ取りを間違えると、取り返しのつかないことになる。

**町長** しかし、施政方針からは、町長の危機感が全く感じられないが。景気回復すれば元に戻るとは思っておらず、国全体が少子化と高齢化にあるなか、本町も非常に厳しく、将来を見据えると明るいという認識はない。まちづくりの指針となる総合計画に基づき、さまざまな施策を実現していくことが重要である。

新設されるホテルの役割は

**問** 本年10月、「味夢

の里」の隣接地に、世界的なホテルブランドであるマリOTT・インターナショナル・グループが運営する、客室75室を擁するホテルが開業する。本施設を単に宿泊施設のみの利用に終わらせてはならないと考えるが、本町にとってどのような位置づけか。

**町長** 本町の情報発信拠点及び交流拠点として、中心的な役割を担う道の駅「味夢の里」敷地内に宿泊施設が開業することで、さらに機能の向上につながる

いきたい。また、ホテル内にレストランスペースを設けず、「味夢の里」をはじめ、町内の飲食店と連携し、宿泊者のニーズに応えられる地元食材を活用した食事の提供ができるように進めている。こうした取り組みを進めることで、観光入り込み客数、滞在時間、観光消費額の増加につなげたい。

地域商社事業の進捗状況は

**問** 地域の特産物や魅力など、地域資源を販売する地域商社事業のこれまでの進捗状況と今後のビジョンは。

**町長** ふるさと納税の返礼品の増加や、取り扱い業者の拡大に取り組んだ。

**問** 本町への経済効果や、魅力発信につながる具体的な取り組みは。

今後は、地域の農産物の流通販売をさらに拡充することで、町内の農林業、商工業の活性化につなげたい。



# 閉会中の委員会報告

## 総務文教常任委員会

2月14日に開催。

のびのび児童クラブ  
1組施設建設現場踏査  
を行い、工事の進捗状  
況と各室の配置など確  
認し、学童保育事業の  
実施状況について説明  
を受け要請した。

### ●のびのび児童クラブ 1組（丹波）施設新 築移転

現在、丹波地域の学  
童保育は旧須知小学校  
校舎で行っているが、  
施設の老朽化や周辺環  
境の悪化と併せて、施  
設への進入路が狭小な  
ため、送迎時の交通安  
全面での課題があった。  
このような状況から  
施設の移転を検討した  
結果、丹波ひかり小学  
校プール横の敷地に移  
転が決定し、施設の建  
設工事が行われている。

施設は木造平屋建て、

床面積139・12㎡で、  
学習室2室、管理室、  
静養コーナー、トイレ、  
手洗いコーナーを配置  
している。

委員からは、内装は  
ビニールクロス仕上げ  
であるが、新庁舎や認  
定こども園は木造にこ  
だわった建物であり、  
なぜ木質にできなかつ  
たのかといった意見が  
あった。

また、手  
洗い場が玄  
関より奥に  
設置されて  
いるため、  
衛生面で問  
題があると  
の指摘があ  
り、検討が  
行われる。  
さらに、  
同校の体育  
館や運動場  
の使用を学



のびのび児童クラブ1組施設建設現場  
(丹波ひかり小学校内)

校と調整し、のびのび  
とした保育が実施でき  
るよう教育委員会に要  
請した。

施設の建設工費は  
5176万円、完成は  
3月26日の予定で、4  
月から新しい施設での  
保育が始まる。

本施設が放課後に保  
育を必要とする児童の  
健全な育成を図る目的  
を達成できるよう、今  
後も施設の運営状況な  
どについて、本委員会  
で確認していく。

## 産業建設常任委員会

2月14日に開催。

議会報告会で出され  
た「町営住宅への入居  
促進」の意見に対し、  
町営住宅の現状と移  
住・定住の取り組みに  
ついて説明を受け、課  
題の協議を行った。

### ●管理戸数と入居状況 (2年2月1日現在)

町営住宅管理戸数 ※ ( ) 内は入居戸数

	公営	特公賃	特別賃貸	地区別計
丹波地区	26(25)	24(9)	0(0)	50(34)
瑞穂地区	11(11)	8(4)	1(1)	20(16)
和知地区	49(42)	23(21)	4(2)	76(65)
種類別計	86(78)	55(34)	5(3)	146(115)

入居募集は年4回程  
度、定期的に募集を  
行っており、令和元年  
度は6回実施した。現  
在までに長寿命化計画  
により、19戸の除却を  
行った。

### ●移住定住の取り組み と家賃引き下げを

府農業会議を通じて、  
都市部でのセミナー開  
催や、本町を訪れての  
交流会を実施している。

また、町内郵便局と  
協定を締結し、郵便局  
長も「京の田舎ぐら  
しナビゲー  
ター」として、  
地域の情報提  
供などにより  
移住者支援に  
協力するとの  
ことであった。

協議のなか  
で、特定公共  
賃貸住宅（特  
公賃）の家賃  
について最低  
区分の引き下  
げを求めるこ



町営住宅（蒲生野団地）

とや、空き家の維持管  
理、老朽化した住宅の  
改善と払い下げを求め  
る意見が出た。  
災害時においては、  
公営住宅が大きな役割  
を果たしたという実績  
報告もあった。

条例改正により、入  
居時の連帯保証人は不  
要となる。  
課題である入居促進、  
老朽化対策など、引き  
続き町営住宅の諸状況  
を確認していくことも  
に、改善に向け調査研  
究に努める。



## 福祉厚生常任委員会

2月12日に開催。

共同生活施設「グループホーム」設置要望に関する説明を受け、共同作業所の現地踏査を行った。

### ●要望者趣旨説明及び意見交換

出席者

京丹波町身体障害者福祉会会長

片山俊明様

京丹波町障害児者を守る会会長

北村容子様

同副会長

谷内喜美子様

監事 藤井五都子様

まず、北村会長から、会員にアンケートを実施した結果、「親が高齢になり将来が心配」、「精神的に子どもと義母の介護はしんどい」、「作業所に通いながら生活に順応できる歳のうちにグループホームに入所させた

い」などの意見から、早期設置の要望に至ったとの趣旨説明を受けた。

他の出席者から、現状の生活にも親が高齢化してきており、この先の見通しが立たないなど、不安や心配を多く抱えていることを、守る会会員からお聞きした。

グループホームの設置は喫緊の課題である。本委員会として他市

町の状況など調査・研究しながら、本町としてどう取り組んでいくのか議論し、行政への提言を行っていきたいとの方向を確認し、継続調査とした。

### ●現地踏査

京丹波町共同作業所和知支所に向き、施設の配置や通所者の作業状況を確認し、課題や今後の取り組みについて意見交換を行った。

## 新庁舎建設特別委員会

### ●第18回特別委員会

2月17日に開催。

1回目の入札が不調となり、2回目の入札を実施したところ、大手2業者の参加があった。

入札は学識経験者などの選考委員会において、技術提案書をもとに審査した。

### 新庁舎建設工事の入札結果

①開札日

令和2年2月14日

②入札方式

価格評価と提案評価による総合評価一般競争入札

③工事概要

木造、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造の地上2階建

④工事期間

令和3年8月31日まで

⑤落札金額（税込）

21億6700万円

### 委員会での主な質疑及び答弁

問 入札参加業者は、前回と同じであったが、

答 大規模木造建築の施工実績が他構造に比べ少ないこと、材料分離発注や人手不足などが考えられる。

問 町内発注予定額の提案はあったのか。

答 約1億円の提案があり、増額が見込まれる時は、優先的に発注する提案となっている。

問 全体事業費と資金計画の概要は。

答 事業費は32億円を見込んでいる。合併特例債と、木造建設を対象にした「サステナブル建築物等木造先導補助金」を活用し、残りは一般財源から支出する。

幅と排水路整備は、新庁舎の完成に間に合うのか。

答 蒲生野中央線の国道9号側は、2年度内に完成予定である。その後、国道27号側に着手する。

問 新庁舎の開庁時期は。

答 建設工事は3年8月末に完成予定である。開庁時期は引越し期間などを検討して、今後決定する。



要望事項に関する意見交換会

問 町道蒲生野中央線の拡



整備が進む建設予定地（蒲生野地内）





議会での議論がその後どうなっているのか、町民のみなさんの疑問に答える企画です。

## あれから どないなっとるんや〜?

**問**

高齢者の外出を積極的に支援するため、バスの敬老乗車券、タクシー利用券などを発行する考えは。

**町長**

財政事情を考慮しながら検討していく。

**問**

事務職採用年齢の上限25歳以下の引き上げと、社会人採用枠を設けるべきでは。

**町長**

今後、事務職の年齢制限の引き上げや通年採用も含め、職員確保を行う必要がある。

**こうなった!**

町営バスが公共交通の中心的な役割を発揮するよう利便性の向上を図るため、令和2年10月ごろを目途として、高齢者を対象に料金が半額となる方針が示された。

(対象年齢は検討中)



令和2年10月から高齢者のバス代が半額

**こうなった!**

事務職採用年齢の上限を45歳まで引き上げ募集したところ、27人が受験し7人が令和元年10月1日付けで採用された。

就職氷河期世代の応募もあった。



幅広い年代からの人材確保 (本庁舎事務室)



# 都会では感じるじよのできない

## 田舎の恵みすべてにプライスレスを実感

広瀬区 今西

隆明さん  
智子さん  
桜太くん（2歳）



今回は、昨年夏に京都市内から広瀬区に來られた今西さん一家を紹介しよす。

隆明さんは京都市内に勤め、季節によつては職場まで自転車通勤されています。智子さんは子育て中ですが、お子さんがわちエンジェルに通所中は、パソコンで仕事をされています。また、家族そろつて農業を楽しんでおられます。



豊かな自然に大満足

—広瀬区を選ばれた理由は。

自然豊かでも日当たりが良く、明るい場所でも気持ち良かったこと、家を譲っていたたい大家さんがすてきな方で、広瀬の魅力などいろいろ教えてくださり、とても気に入りました。

JR和知駅や京都縦貫道にもアクセスが良く、海や市内に出るのに便利です。移動スーパーが公民館に來ることも、小さな子どもがいる私たちにはありがたいです。

—住んでみた感想は。

何十件とあちこち探しましたが、ご近所さんがとても親切で、思っていた生活が送れ、感謝しています。散歩すると意外と坂がきつুক、家族全員が足腰丈夫になりそうです。

—子育て環境は。

私たちはもともと自然が好きで、のびのび子どもが育っているのを聞

近に見て、引越してきてよかつたと思つています。

水や空気もきれいで、満天の星空、採れたて野菜はおいしく、鳥の鳴き声に癒されます。どれも田舎の恵みで、すべてプライスレス。都会に比べ、同じ24時間でもゆつたり子育てができます。

—これからの生活設計は。

時間に比重を置いた生活を望んでいます。子育てにも自分の趣味にも、じっくり向き合える時間の使い方しようと思つています。仕事も遊びも一生懸命です。

—何か感じたり思つたりすることは。

私たちが海外の地方都市に住んでいるときに感じたことですが、インバウンドだけでなく、自国の観光客を大切にし、自国の方々に発信するよくなインフォメーションが多くあるなと感じました。

海外の方々に発信することも観光業では必要なかもしれませんが、もっと日本の方々に京丹波の魅力を発信できたらと思ひました。

(記者 谷山)

## 議会の傍聴に おこしくください

次回の議会予定は次のとおりです。

6月定例会

5月29日(金)から  
6月16日(火)まで

## 編集後記

中国の武漢市で発生した新型コロナウイルスの感染が、瞬く間に世界中に広がり、経済界はもろろん、私たちの生活を直撃しています。

また、本年は東京オリンピック・パラリンピックが開催される予定でしたが、一年程度開催を延期するとの決断がされたものの課題は山積しています。

新型コロナウイルスはインフルエンザウイルスのように、暖かくなると消滅するわけではなく、半年から一年超の長期対応が続くといわれており、感染防止の正しい知識と対策で私たち一人ひとりが感染を広げないことが必要であります。

議会だより第66号がみなさまのお手元に届くころには、新型コロナウイルスの感染がこれ以上広がらないことを願つています。

(坂本)